

(5) 実験2について説明した文として適切なものを、次のア～エから1つ選んでその符号を書きなさい。

ア. ビーカーAとDの結晶をとり出すとき、どちらの水溶液も加熱して水を蒸発させる方法より、冷やす方法の方が適している。

イ. ビーカーBとCの結晶を観察したとき、ビーカーBの結晶は青色、ビーカーCの結晶は無色であり、形だけでなく色でも区別できる。

ウ. ビーカーBとDの水溶液を20℃まで冷やしたときの質量パーセント濃度は、ビーカーDの方が大きい。

エ. ビーカーBとCの水溶液を20℃まで冷やす途中の40℃の段階では、どちらの水溶液からも結晶は出てこない。

ア... Aの塩化ナトリウムは温度差による溶解度の差が小さいので、水温を下げることで結晶を得ることは難しい。

(ウ)

イ... この実験で用いている物質は、すべて白色である。

エ... 100gの水にとけている物質は37.5gである。表より、40℃における物質のとける質量が37.5gよりも小さいA(塩化ナトリウム)、C(三ヨウバン)でのみ結晶が見られる。